

平成28年度 事業計画

1 環境確認及び基本方針

(1) 伊勢志摩地域としての方向性

昨年6月5日に伊勢志摩サミットの開催が決定し、大きな話題となりました。

このことは、“伊勢志摩”を国内外へ発信するうえで千載一遇の機会となり、式年遷宮後の伊勢志摩地域の観光誘客を促進するための後押しになる事が期待できます。

特に、我が国における外国人旅行者の現状と少子高齢化による人口減少、平成31年（2019年）に日本で開催されるラグビーワールドカップや平成32年（2020年）の東京オリンピック・パラリンピックの開催等を見据えると、インバウンドの推進は必要不可欠であり、今後のこの地域の取組に拍車をかけることになると思われまます。

本年5月26日、27日に開催される伊勢志摩サミットに来訪する皆様を三重県民が一体となっておもてなしし、サミット自体が滞りなく無事に執り行われることを切に望むとともに、本年に開催される伊勢志摩国立公園指定70周年記念事業や、平成29年4月、5月に開催される第27回全国菓子大博覧会・三重（お伊勢さん菓子博2017）、平成30年度の全国高等学校総合体育大会（2018インターハイ）、平成33年度の第76回国民体育大会（三重とこわか国体）等、大規模事業が今後継続して開催されることから、これらを契機として“レガシー”（未来への遺産）を残すための観光戦略を進めていくことが必要と考えます。

特に、パーソナルバリアフリー基準によるバリアフリースーツリズムの積極的な推進を図り、様々な旅行者のみなさんが行きたいところ、楽しみたいことを実現できる受け入れ環境を整備することが、この地域において必要と考えます。

(2) 平成28年度事業について

第2期伊勢志摩観光振興プランに基づき、「“観光立国”伊勢志摩経済圏の活性化」を目指し、事業を進めていきます。

平成28年度の当機構の取組を円滑に推進するため、伊勢志摩観光企画委員会（必要な事項について企画、調査及び審議をする組織）において事業仕分け作業を行い、「当機構でないといけない事業」、「当機構が行うことで効率的・効果的である事業」を主眼に置き、無駄なく効果が発揮できる事業に絞り込みを行いました。

その中で、3大事業連携支援事業（伊勢志摩サミット、伊勢志摩国立公園指定70周年、第27回全国菓子大博覧会・三重を合わせた情報発信）の臨時施策を新たな取組として計画するとともに、平成27年度に大幅リニューアルしたホームページにおける国内外への情報発信の更なる充実や、同じく平成27年度に設置した伊勢志摩リゾートMICE推進協議会におけるコンベンション等の誘致に対し、積極的に力を注いでいきたいと考えています。

また、第2期伊勢志摩観光振興プランに基づき、「伊勢志摩ブランドコンセプト」に位置付けした「神宮文化」、「御食つ国の食文化」、「国立公園としての自然」、「海女文化」の魅力と観光力を、強化したホームページを中心に広く国内外へ発信し、伊勢志摩地域への安定した観光客の獲得を図ります。

最後に、当機構が伊勢志摩地域の観光振興を中心的に支える組織として、会員の皆様をはじめ、関係団体の皆様から全幅の信頼を得られる組織となるために、中長期的なビジョンを描き、組織強化を図るための議論を、伊勢志摩観光企画委員会を中心に積極的に進めていきたいと考えています。

2 伊勢志摩地域の経済が活性化することを目的として行う観光振興事業

(1) 観光情報の発信事業 12,155 千円

行政区域の枠を超えた広域でのスケールメリットをいかした効果的な情報発信を図り、継続的な誘客促進に寄与するため、以下の事業に取り組みます。

①インターネットによる情報発信

平成27年度に大幅リニューアルしたホームページについて、伊勢志摩観光のポータルサイトとなるべく、魅力あるコンテンツの継続的な情報発信に取り組み地域内の宿泊客増加の一助を担います。

特に、当機構職員が取材をすることで旅行ガイドブックには掲載されていないより魅力的な特集ページの充実化を図り、ホームページのアクセス数としては、平成27年度より増加の200万ページアクセス以上を目指し、伊勢志摩地域内の観光消費額増加の一助を担います。

また、インターネット上で需要喚起をすべく、インターネット利用者が「ドライブ」など旅行に関連するワードで検索した場合に、当機構ホームページを上位に表示する取組を継続して行い観光客増加を図ります。

合わせて、フォトギャラリーの充実化を図り、フォトギャラリー画像使用許可について年間2,500件を目指し、旅行会社やメディア等が「伊勢志摩」をより紹介したくなるような、コンテンツを追加していきます。

なお、フェイスブックやツイッターなどSNSにおいても相互連携し、「伊勢志摩ファン」の増加を図り、効果的に情報発信します。

【参考】

No.	項目		平成26年度 (実績)	平成27年度 (予想)	平成28年度 (目標)
1	ホームページ アクセス数	年間	約48万 ページアクセス	約120万 ページアクセス	約200万 ページアクセス
2		年末年始 (12月28日～1月3日)	4,752 ページアクセス	43,512 ページアクセス	約70,000 ページアクセス
3	フォトギャラリー画像請求件数		260件 (月22件)	約2,100件 (月175件)	約2,500件 (月208件)
4	フェイスブックページ「いいね」数		1,780 いいね	約3,800 いいね	約5,000 いいね
5	ツイッターフォロワー数		2,910 フォロワー	約3,400 フォロワー	約3,500 フォロワー

②メディアによる情報発信

三重テレビ放送「ええじゃないか。」において、伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町のイベントや観光情報、グルメなど、伊勢志摩地域の特徴を活かした番組を制作・放送します。

テーマ性のある企画でより深く、より地元に着目した旬な情報を視聴者に提供することで、リピーターの獲得及び伊勢志摩全体の知名度の向上を図ります。

なお、当番組は、三重テレビ放送他8局で放送され、全国世帯の約50.1%をカバーしていることや、番組情報を新聞や情報誌にPRしていることから、効果的な情報発信及び全国からの誘客促進が期待できます。

③パンフレット等による情報発信

「伊勢志摩観光ガイドブック『美し国伊勢志摩』（日本語版、英語版、中国語版、韓国語版）」を中心とした、紙媒体での情報発信を実施します。

上記のガイドブックは、当地域へ訪れようとする観光客には、観光スポットやドライブルート、経路情報などで伊勢志摩のイメージを提供しつつ、同時に体験施設情報やエリアマップを掲載することで、当地域へ訪れてからも活用しやすいものになっています。

また、幅広い年齢層への視認性及び携帯性及び利便性の向上のため、スマートフォンサイトへの誘導を行い、紙媒体とWebの双方で観光情報を提供することで、「伊勢志摩ファン」の増加を目指します。

なお、本年開催される伊勢志摩サミットを契機に、当地域を訪れる報道関係等に「伊勢志摩観光ガイドブック『美し国伊勢志摩』」の外国語版を配布し、伊勢志摩への理解を深めてもらうとともに、伊勢志摩の魅力を国外にも広く発信します。

その他、当機構発行のガイドブック「女子旅すぽっと伊勢志摩」、「御朱印すぽっと伊勢志摩」を活用して、目的・ターゲット別に伊勢志摩の楽しみ方について観光客に提案し、伊勢志摩地域内の周遊を促進します。

これらのガイドブックの発行及び配布を通して、伊勢志摩の様々な魅力を積極的に発信していきます。

(2) 観光客及びコンベンションの誘致促進及び受入体制の整備に関する事業

15,900千円

伊勢志摩地域全体への観光入込客の増大を図るため、地域が一体となって観光客やMICE等の誘致を行います。具体的には以下の事業に取り組みます。

①MICE誘致事業

伊勢志摩への「MICE誘致・活用」や「スポーツツーリズムの推進」に取り組み、伊勢志摩地域の交流人口の拡大を図ります。

また、MICE開催主催者に対して、「コンベンション開催助成金」等の各種開催支援についても継続して実施します。

●戦略的なMICEの誘致活動

「伊勢志摩リゾートMICE推進協議会」会員がオール伊勢志摩体制を構築し、当機構の各種支援制度を提案しつつ、①ターゲットを絞り込んだ誘致活動、②伊勢志摩リゾートMICE企画商品による誘致活動、③IME2016（国際ミーティングエキスポ）を活用した誘致活動を実践し、伊勢志摩地域へのMICE誘致を図ります。

●大規模MICEの有効活用

伊勢志摩サミット開催地の強みを活かしたMICE誘致や、「第27回全国菓子大博覧会・三重（お伊勢さん菓子博2017）」を契機に、伊勢志摩地域全体への宿泊者拡大に取り組みます。

●スポーツツーリズムの推進

今年度以降開催の大型スポーツ大会（2018年/インターハイ、2020年/東京オリンピック・パラリンピック、2021年/三重国体）を見据え、伊勢志摩地域のフィールドや環境を活かした「スポーツ大会」や「スポーツ合宿」の誘致を図り、地域間交流の拡大につなげます。

②3大事業連携支援事業

伊勢志摩サミット、伊勢志摩国立公園指定70周年記念事業、第27回全国菓子大博覧会・三重（お伊勢さん菓子博2017）の大規模事業を合わせて情報発信することで、国内外にこの地域の存在感を強烈にアピールする取組を行います。

主な内容は、展示会への出展、広報紙への掲載（連載）、研修会の開催、及び伊勢志摩周遊企画の実施等です。

なお、例年、三重県とイオンが連携して大都市圏などのイオンモールにて開催される「三重県フェア」を、平成28年は「みえ伊勢志摩フェア」とし開催するため、当機構として連携強化し、伊勢志摩地域への誘客促進に努めます。

また、その他の関係団体等とも連携を密にし、事業推進を図ります。

なお、臨時施策事業として位置付け、財源は伊勢志摩WAONの寄付金を充当します。

③国内誘客促進事業

伊勢志摩地域の魅力を広く発信・アピールしつつ、首都圏・中部圏・関西圏の各地域からの需要喚起や誘客促進を図るため、各種誘致活動を実施します。

外部の観光産業関係者などが開催する研修会への参加及び意見交換、プロモーションを実施し、各方面へ「伊勢志摩」の露出を図ります。

また、観光産業の市場動向に応じた事業展開を実施するため、観光業者及び旅行会社などとネットワークを組みながら連絡調整を図ります。

④展示会出展事業

大都市圏ならびに各地の集客施設で開催される各種イベントに、伊勢志摩地域への誘客促進効果を検証した上でPRブース等を出展し、発地側の消費者に伊勢志摩の魅力を直接伝え、当地域への効果的な誘客促進を図ります。

また、旬の地域情報の発信により、伊勢志摩地域への誘客促進に努めます。

なお、今年度については、昨年の出展状況を勘案し、当機構が主体となって広域でPRするべ

きものか精査を行い、展示会等に出展します。

各市町の単独出展よりも、効率的かつ効果的な情報発信が展開できるよう、伊勢志摩地域全体の魅力を発信し、誘客に努めます。

⑤インバウンド推進事業

伊勢志摩への外国人観光客の誘致活動をより効果的にするために、伊勢志摩単独ではなく広域連携が求められることから、「伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会」及び「三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会」との連携を軸としながら「三重県外国人観光客誘致促進協議会」、「昇龍道プロジェクト」に参画します。

また、伊勢志摩サミット開催を契機に海外からの注目度が高まるため、伊勢志摩への外国人観光客の誘致活動を積極的に取り組みます。

(3) 伊勢志摩フィルムコミッション事業 880 千円

映画、TV、CM等の各種映像を通し、伊勢志摩地域の魅力を発信することにより、この地域の魅力の再発見や知名度、地域イメージの向上を図るため積極的な撮影の誘致を行います。

また、支援体制の強化として、制作会社からの映像候補地の提供などの問い合わせへの対応、候補地の下見への同行などの支援、エキストラスタッフの派遣協力、県内の他フィルムコミッションとの連携を強化します。

さらに、伊勢志摩地域でのフィルムコミッション事業の円滑な実施を支援するために、官民一体となって組織されている伊勢志摩フィルムコミッション事業推進委員会の体制強化と機能性の充実に努めます。

なお、今年度は制作会社へのセールスや情報提供の際のツールとして活用することを目的に、伊勢志摩の風光明媚なロケーションを紹介するパンフレットを作成します。

(4) 観光情報の調査研究及び観光客の満足度の向上に関する事業 200 千円

伊勢志摩地域全体において、市町の枠・官民の垣根を越えて連携し、観光客の実態把握を行い、観光客へのおもてなしの向上に寄与します。

当機構に寄せられた来訪者からの意見等は、関係者へ情報共有を行うとともに、苦情等に対しては再発防止を図り、更なるサービスの向上を目指します。

また、伊勢志摩地域を訪れる観光客の動向と実態を調査するため、会員の協力を得ながら、域内観光地で観光客へのアンケート調査を実施します。調査結果は、会員に周知するとともに今後の広域観光施策の基礎資料とし、当機構ホームページでも公開します。

なお、希望する会員には調査結果を活用できるようExcelデータも譲渡します。

(5) 観光産業及び観光文化の振興と人材の育成に関する事業 200 千円

伊勢志摩地域が一体となった集客交流が円滑に進む体制の整備を通じて、地域の観光産業の振興を図ります。

当機構では、地域の観光事業者やおもてなしに関心を持つ方等を対象に、日本の食文化や伝統文化、歴史についての基礎知識や飲食店等における基礎的な英語での対応を習得できる機会を造成するため、和食検定のセミナー及び団体受験を主催します。

このような事業を通じて、和食文化の正しい理解や、日本文化の魅力を国内外にPRできる人材の育成に寄与します。

伊勢志摩サミットを契機に外国人来訪者の増加が予想される中、日本の食文化を正しく理解し、発信していく事で、国際交流の一端に寄与するとともに、おもてなしに関わる全ての方々のレベルアップに繋がるように取り組みます。

(6) 伊勢志摩キャンペーン事業（特別会計事業） 37,282 千円

「一年に一度はお伊勢参りへ。」をテーマとして、三重県・伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町・度会町・玉城町の1県3市3町の行政と、各種観光団体や交通機関等も含めた民間企業とで実行委員会を組織し、10月から翌年3月末までの半年間、伊勢志摩の広域的な観光キャンペーンとして「美し国、まいろう。伊勢志摩キャンペーン」を実施します。

本キャンペーンでは、本年開催される伊勢志摩サミットを契機として、伊勢志摩のさらなるブランド化を図る効果的な情報発信や、各種イベント、プレゼント企画、新規旅行商品の造成等により伊勢志摩地域内の誘客を促進し、周遊性、滞在性を高めていきます。

(7) 伊勢志摩学生団体誘致委員会事業（特別会計事業） 3,521 千円

平日の安定的な宿泊稼働と集客を維持できる教育旅行を誘致するため、引き続き宿泊・観光施設・観光団体等で組織する「伊勢志摩学生団体誘致委員会」の活動を展開していきます。

「～自然・歴史・文化から学ぶ～ 美し国・環境学習」を学習テーマに、首都圏・北信越圏は中学校、関西圏は小学校、東北圏は高校をメインターゲットとし、伊勢志摩固有の歴史・文化・伝統・産業や国立公園としての自然に、各種観光施設を組合せた教育旅行の提案と発信、各種プロモーションを実施し、修学旅行誘致の枠組みだけでなく、臨海学習、スポーツ合宿等の広く教育に係る旅行誘致につなげていきます。

当委員会内に設置された企画立案グループ会では、伊勢志摩ならではの教育旅行の提案やプログラムづくりの開発等に取り組み、他地域教育旅行との差別化を図ります。

また、誘致宣伝グループ会では、全国の学校や、旅行会社等を対象として情報の発信及び訪問セールス、現地視察招聘等の誘致活動を実施します。

あわせて、全国修学旅行研究協会、日本修学旅行協会及びあおぞら号近畿地区運営協議会との情報交換・情報収集を行い、マーケティングに反映していきます。

3 管理部門

(1) 組織体制の強化

①事務局体制

伊勢志摩広域観光戦略推進の中核組織としての役割を担うため、当機構の事務局体制の在り方について、日本版DMOの導入も踏まえ伊勢志摩観光企画委員会を中心に議論し、中長期的なビジョンを作成します。

■事務局職員（13名）の内訳

伊勢市からの派遣職員	2名
鳥羽市からの派遣職員	2名
志摩市からの派遣職員	2名
南伊勢町からの派遣職員	1名
三重県職員（観光誘客課 伊勢市駐在）	1名
三重交通㈱からの派遣職員	1名
近畿日本ツーリスト㈱からの派遣職員	1名
臨時職員	3名

②観光専門プロパー職員の設置

これまでの議論を踏まえ、専門プロパー職員を設置するための予算調整を行います。

③会員の拡大

行政区域の枠を越えた伊勢志摩広域で、官民が一体となった観光振興事業の展開及び推進を図るため、会員相互及び事務局で新規会員の積極的な確保に努めます。

平成28年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	借入先	金額		用途	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達の方法	

平成28年度 別途会費又は負担金の額

当機構会費規程第5条第1項に規定する、平成28年度における別途会費又は負担金の額は次のとおりとする。

1.伊勢志摩キャンペーン事業 特別会計負担金

委員名	負担金額	委員名	負担金額
伊勢地区	5,500 千円	玉城町地区	300 千円
鳥羽地区	5,500 千円	度会町地区	300 千円
志摩地区	5,500 千円	近畿日本鉄道株式会社	15,000 千円
南伊勢町地区	600 千円	三重交通株式会社	1,000 千円
三重県	2,580 千円		

2.伊勢志摩学生団体誘致委員会事業 特別会計負担金

①学誘特別委員 16 委員

委員名	負担金額	委員名	負担金額
伊勢市	600 千円	南伊勢町観光協会	30 千円
鳥羽市	600 千円	伊勢商工会議所	30 千円
志摩市	600 千円	鳥羽商工会議所	30 千円
南伊勢町	300 千円	志摩市商工会	30 千円
三重県	300 千円	南伊勢町商工会	30 千円
公益社団法人伊勢市観光協会	30 千円	鳥羽旅館事業協同組合	30 千円
一般社団法人鳥羽市観光協会	30 千円	答志島旅館組合	30 千円
志摩市観光協会	30 千円	相差旅館組合	30 千円

②学誘委員 一律 30 千円×26 委員